

経営比較分析表（平成30年度決算）

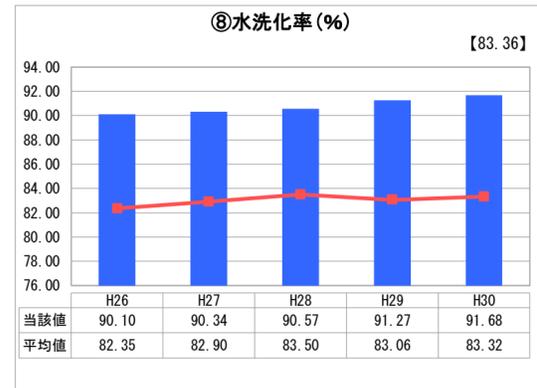
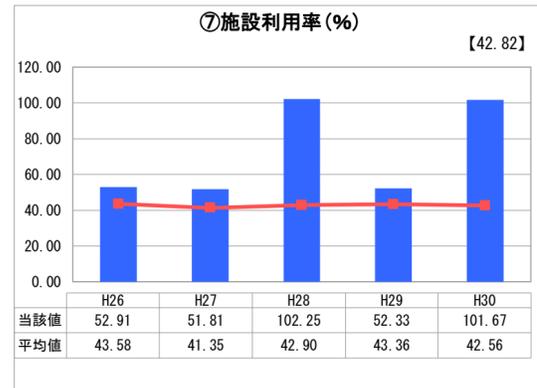
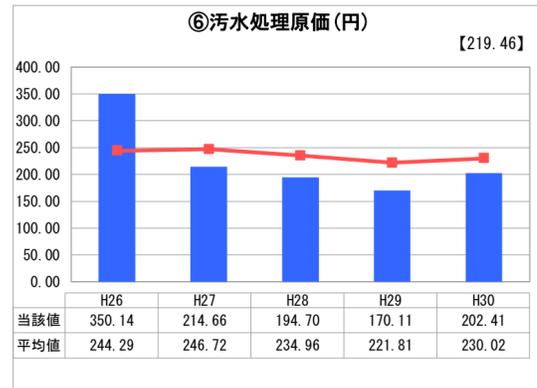
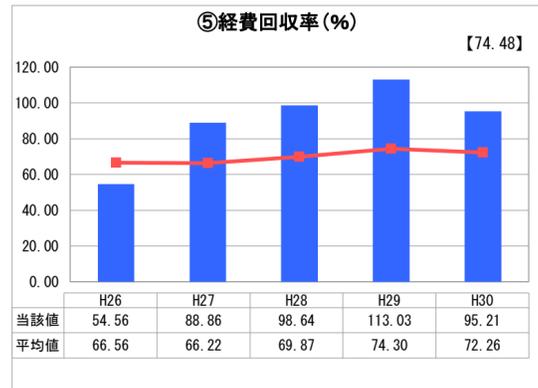
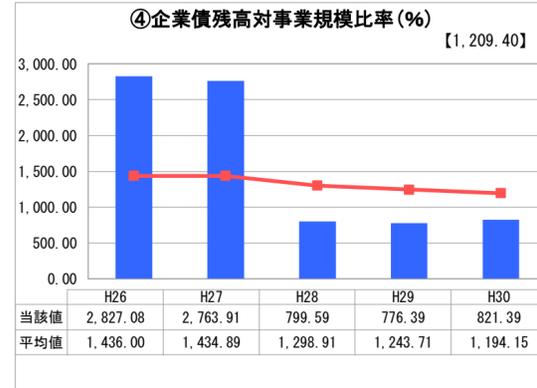
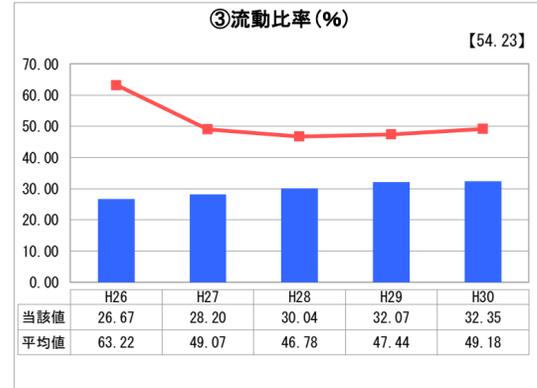
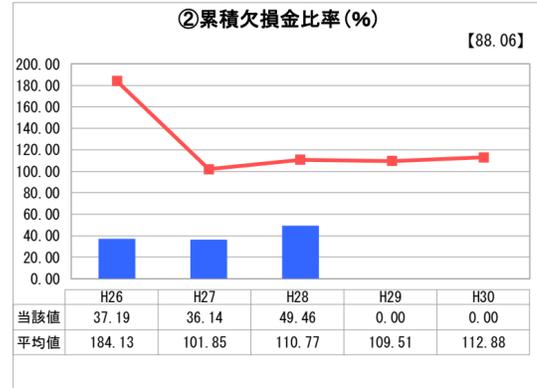
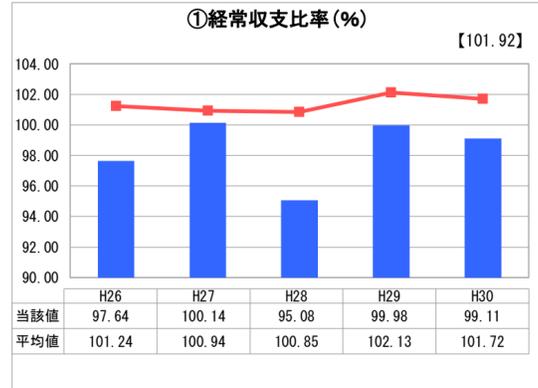
兵庫県 西脇市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.95	22.02	95.45	3,564

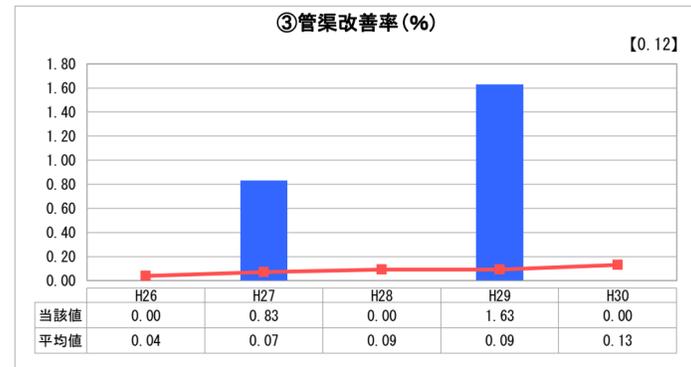
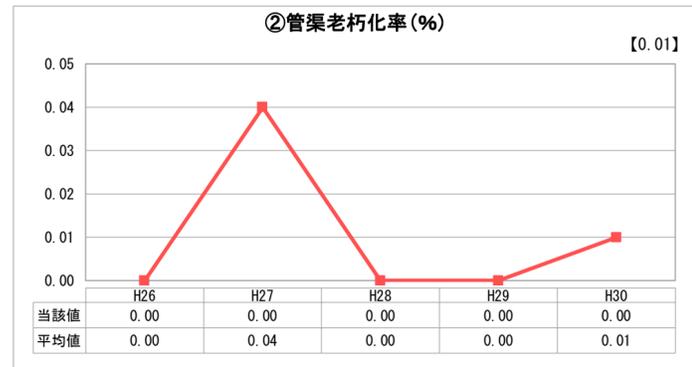
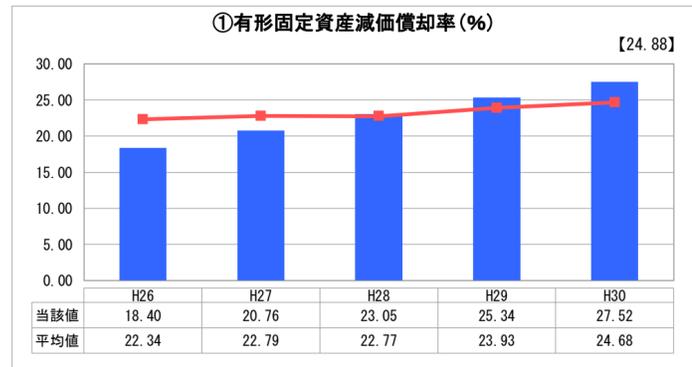
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
40,867	132.44	308.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,893	6.10	1,457.87

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%をわずかに下回っています。安定した経営を維持するためには、更なる費用削減が必要となっています。

② 累積欠損金比率は、資本剰余金の処分をしたため平成29年度から発生していません。

③ 流動比率は、剰余金を保有していないため、全国平均を下回っています。

④ 企業債残高対事業規模比率は、企業債の借入額よりも償還のスピードが速くなったため、全国平均より低くなっています。

⑤ 経費回収率は、前年度より使用料収入が減少し、汚水処理費用が増加したことにより、下降しています。100%を下回っており、汚水処理費の削減が必要です。

⑥ 汚水処理原価は、汚水処理費が増加したことにより昨年度より高くなりましたが、全国平均より低くなっています。

⑦ 施設利用率は、処理水量が大幅に増加したため、全国平均より高くなっています。

⑧ 水洗化率は、毎年未接続世帯を訪問し水洗化啓発に努めた結果、年々上昇しています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、年々上昇し施設の老朽化が進んでおり、全国平均より高くなっています。

② 平成9年4月1日に供用開始しており、法定耐用年数を超えた管渠はありませんので、管渠老朽化率は0です。

③ 管渠改善率は、平成30年度は0です。

全体総括

特定環境保全公共下水道は、平成9年4月1日に供用開始し、下水道普及率はほぼ100%となっています。

しかし、人口減少や節水意識の向上などにより、使用料収入が年々減少する中で、処理施設の老朽化が進むことから、施設の更新に係る経費や維持管理経費などが増加しています。

そのため、使用料収入につながる水洗化率の向上を図るとともに、平成29年1月に策定した「下水道事業経営戦略」に基づき、長寿命化計画を策定し、機器の改築・更新などにより、維持管理経費の削減に努め、経営基盤を強化していきたいと考えています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。